

(株) 東芝 東芝病院 環境保全基本方針

東芝病院は、東芝グループの職域病院として、「東芝グループ経営理念」に沿って、「“かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

次の活動を推進していきます。

1. 省資源・省エネルギーの推進

保健・医療・福祉活動及び関連活動における環境側面について、環境影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定し、省資源・省エネルギーを推進します。

2. 廃棄物の減量化

保健・医療・福祉活動及び関連活動によって発生する廃棄物の減量化を推進します。また、医療廃棄物の処理・廃棄については、厳重に管理します。

3. リサイクルの促進

地球資源の有限性を認識し、購入・使用・廃棄などの段階で環境保全に貢献できる再利用可能な材料・商品等を積極的に取り入れ、リサイクルの推進等環境負荷低減に取り組みます。

4. 法令遵守・安全性・快適性の確保

環境保全に関する法令、条例、協定等を遵守するとともに、必要により自主基準を設定します。また、監査の実施や環境に影響を与える活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。

5. 環境広報活動の推進

環境方針・目的を職員へ周知徹底し、環境意識をより高めるとともに、環境保全に全員で取り組みます。また、地域・社会との相互理解の促進のために、情報開示を行います。

2012年9月1日

(株)東芝 東芝病院 院長

新井 雅裕